

がん対策に係る医療従事者養成事業

背景

- **がんの外来治療が主流化**
がん患者の平均在院日数（宮城県）
18.0日（H28患者調査）
- 和元年6月
遺伝子パネル検査 保険収載

ここ1年の拠点病院指定の動き

H30.2	東北大学病院 がんゲノム医療中核拠点病院に指定
H30.4	県立がんセンター がんゲノム医療連携病院に指定
H30.7	がん診療連携拠点病院等整備指針の改定 小児がん連携拠点病院等整備指針の改定
H31.4	新指針に基づくがん診療連携拠点病院指定
R 1.7	がんゲノム医療中核拠点病院等整備指針 の改定

医療
機関

質の高い
がん医療の提供

行政

地域全体の
がん医療の質を
担保するための
人材育成の企画

ねらい

- 外来医療も含めたがん医療の均てん化を図る
- 患者が身近なかかりつけ医等で、がん医療の相談、ゲノム医療等の最新の情報提供が受けられる。

実施根拠

H30.3策定 第3期宮城県がん対策推進計画

人材育成

がん診療に携わる専門性の高い人材育成を推進

ゲノム医療

がんゲノムの推進、がんゲノム情報の取扱い、ゲノム医療に関する県民の理解促進のため啓発普及

事業内容

二次医療圏単位でのがん医療従事者研修会

【対象】医師（かかりつけ医）・コメディカル

【内容】**最新のがん医療**，多職種連携

がんゲノム医療の知識，国・県の動向

【方法】宮城県医師会，東北大学病院（ゲノム医療中核拠点病院）と協力して実施。
がん診療連携拠点病院と連携して開催